

授業科目

相談援助論I

担当教員名 鈴木 昭	対象学年	2	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

社会福祉士（ソーシャルワーカー）の役割を学び、ソーシャルワークの意義と機能について理解する。
相談援助を中心としたソーシャルワーク実践の概念や理念、範囲などについて理解する。
社会福祉士として実践に必要な基本的な視点、考え方など相談援助職の基盤となる知識、技能、態度を習得する。

授業の目的

個人の社会生活をおくるうえでのニーズや地域における福祉課題の改善・解決に向けた相談援助を担う社会福祉士には、広範、多岐にわたる知識・技能・態度の修得が求められる。このため、本科目では相談援助（ソーシャルワーク）についてその基本理念や範囲、基本姿勢、実践過程などその拠って立つ基盤について学び、社会福祉士（ソーシャルワーカー）としてのアイデンティティを体得することを目的とする。

学習目標

- 1 社会福祉士、精神保健福祉士などソーシャルワーカーの役割と専門性、その意義について概説できる。
- 2 相談援助の概念や範囲、理念、ソーシャルワークの基本視点、基本姿勢について概説できる。
- 3 相談援助およびソーシャルワークの基本概念を実践過程に即して概説できる。
- 4 相談援助における権利擁護の意義について概説できる。
- 5 多職種連携とジェネラリストアプローチについて概説できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション	社会福祉専門職とその仕事について考える	鈴木 昭
2	社会福祉士とソーシャルワーカー	第1章 社会福祉士の役割と意義	鈴木 昭
3	生活問題とソーシャルワーク	第1章 現代社会と地域生活	鈴木 昭
4	ソーシャルワークとは何か	第2章 ソーシャルワークの概念 ソーシャルワークの構成要素	鈴木 昭
5	ソーシャルワーク実践の基礎知識	基礎的な方法と実践過程 資料	鈴木 昭
6	ソーシャルワークの歴史 発生期	第3章 ソーシャルワークの源流	鈴木 昭
7	ソーシャルワークの歴史 確立期	第3章 ソーシャルワークの発展	鈴木 昭
8	ソーシャルワークの歴史 発展と展開	第4章 相談援助の形成過程	鈴木 昭
9	ジェネラリスト・ソーシャルワーク	第4章 相談援助の形成過程	鈴木 昭
10	ソーシャルワークの価値	第5章 ソーシャルワーカーと価値	鈴木 昭
11	ソーシャルワーカーの倫理	第5章 ソーシャルワーク実践と価値	鈴木 昭
12	ソーシャルワークと権利擁護	第5章 ソーシャルワーク実践と権利擁護	鈴木 昭
13	ソーシャルワークの基本 視点と姿勢	第6章 クライアントの尊厳と自己決定 ノーマライゼーションと社会的包摂	鈴木 昭
14	相談援助面接の基礎知識	相談援助職のタイプー自己の振りかえ	鈴木 昭
15	まとめ	総括と振り返り 専門的視点と技術について考える	鈴木 昭

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	6 相談援助の基盤と専門職	社会福祉士養成講座編集委員会	中央法規	2012年	2,600円+税	最新刊
参考書						
その他の資料						

評価方法

定期試験 レポートにより評価する

履修上の留意点

日ごろ社会の出来事に関心をもつとともに厚生労働省HPなどにより福祉の動向をリアルタイムに把握するようこころがける。

オフィスアワー・連絡先

授業終了後 GA201研究室
mail: akira-suzuki@nuhw.ac.jp